Vol.03

LESSON-03

スマホコミックを作ろう！

CREATIVE EDGE SCHOOL BOOKS - WEBCAST 2015

Lesson-03　スマホコミックの設計とデザイン

スマホコミックは、巻き物のような長い画像を貼り付けたページです。垂直方向にスクロールしながら読みますので、通常のウェブページと同じですが、ストーリーに没頭できるように、快適な操作を保証しなければいけません。このレッスンでは、スマホコミックのユーザビリティ（使いやすさ）について解説します。実技はありません。

Lesson-03 は、以下の 6 つのステップで学びます。

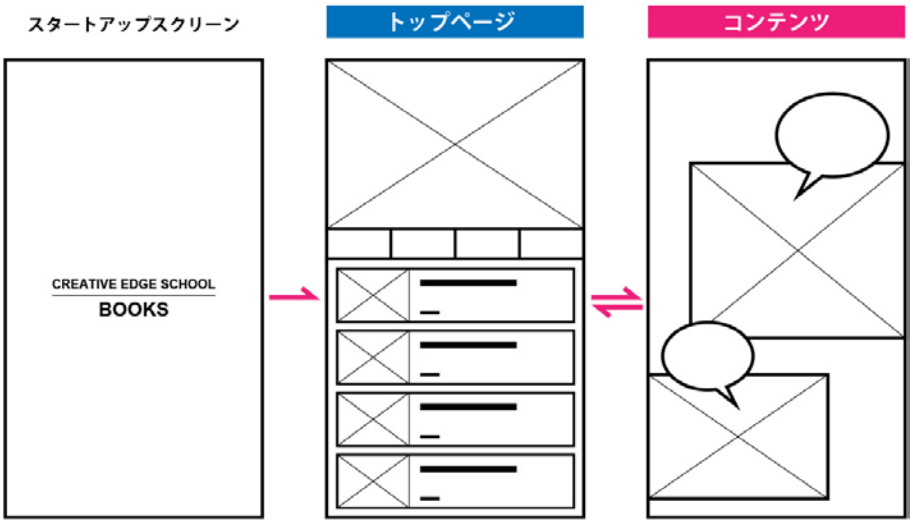
STEP-01　スマホコミックの構造
STEP-02　スマホコミックは「コンテンツファースト」
STEP-03　ヘッダーとフッターのデザイン
STEP-04　スマホコミックページのデザインガイドライン
STEP-05　プリローダーの組み込み
STEP-06　プリローダーの動作確認

このレッスンで使用する素材ファイル：

レッスン用の素材はありません。確認用のサンプルのみです。
「Lesson03」フォルダの
「sp_comic_fin.muse」
「sp_comic_fin_preloader.muse」

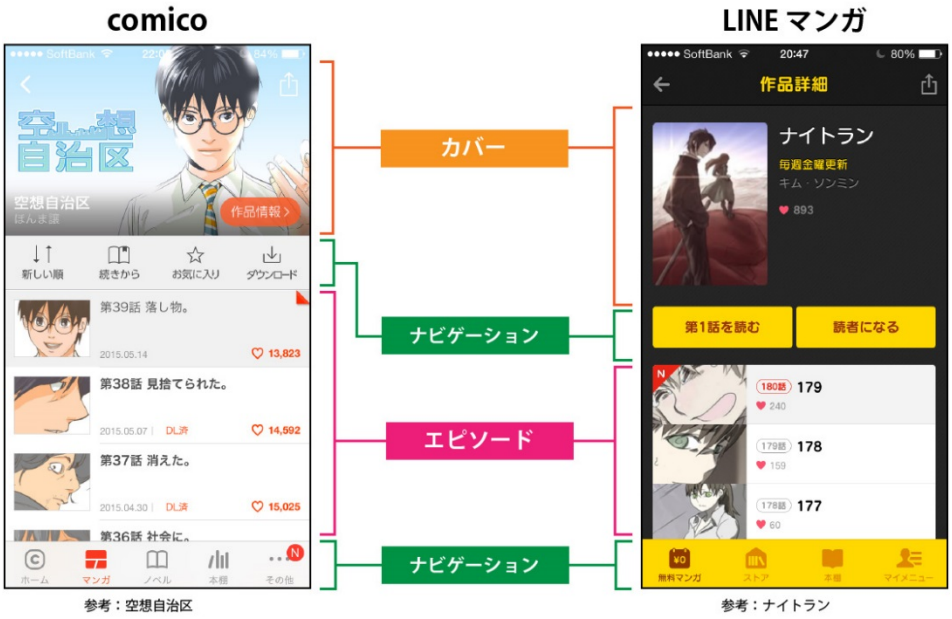
STEP-01　スマホコミックの構造

スマホコミックは、コンテンツ本体以外に、スタートアップスクリーンやトップページがあります。
スタートアップスクリーンは、アクセスしたとき最初に表示されるマーケティングカバーで、重要なお知らせを表示したり、プリローダーの役割を担っています。通常、数秒程度でトップページに切り替わりますが、ブランドアニメーションなどを再生する場合は、スキップボタンを配置し、読者が切り替えられる仕組みにします。



読者にとっては、特に必要なものではありませんので、数秒の表示でも煩わしく感じる可能性があります。たんなる装飾目的なら、付けないほうがよいでしょう。どうしても組み込みたい場合は、複数のバリエーションを用意し、時間によって表示内容を変えるなど、工夫が必要です。

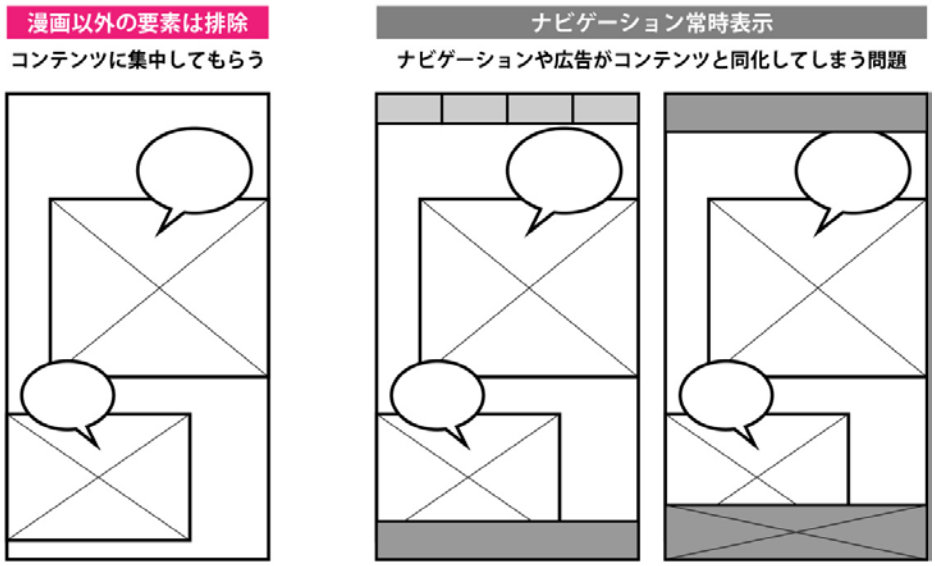
今回は、スタートアップスクリーンを作成せず、トップページとコンテンツだけの構造にします。
トップページは、「本」でいえば目次に相当します。例えば、10 話公開済みなら、最新のエピソードから順に 10 のタイトルを表示し、各項目はバナー広告のようなデザインにします。左側に象徴的なシーンのサムネイル、右側にエピソードのタイトルをレイアウトするのが一般的です。
その他、作品紹介、作者のプロフィールなども掲載されます。



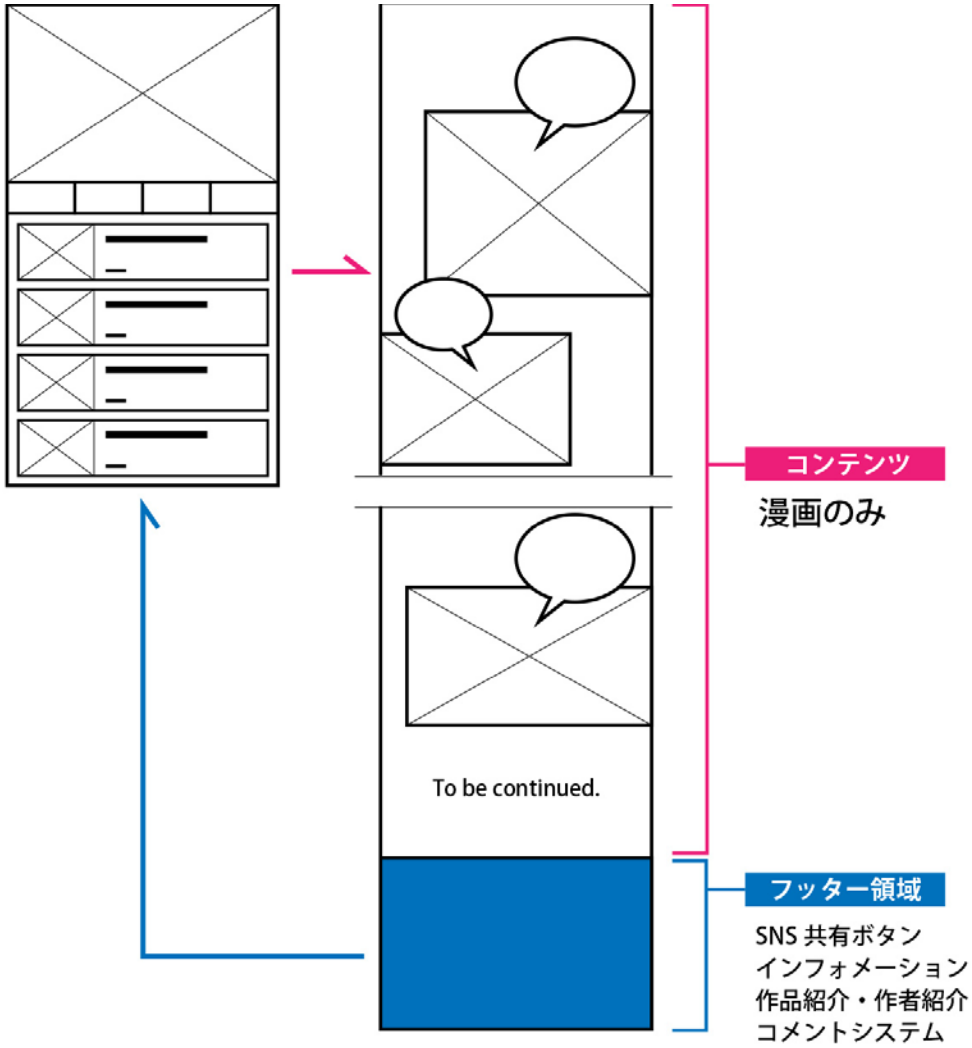
STEP-02　スマホコミックは「コンテンツファースト」

コンテンツ本体は、漫画の世界に没頭できるよう、余計な要素は付加しません。スマートフォンのような小さなスクリーンのデバイスは、「コンテンツファースト」の考え方が重要になります。

アプリで提供されているスマホコミックの仕様は、漫画以外、何も表示せず、スクリーンを一回タップすると、上下にメニューバーやフッターが表示されます。読者が何も操作しなかった場合、数秒ですぐ消えます。極力、漫画以外の要素を表示しないように設計されています。



ページの一番下には、SNS の共有ボタン、インフォーメーション、コメントシステムなどが配置されており、読者とのコミュニケーションの場として機能します。



ウェブコンテンツ（HTML）のスマホコミックは、タップすると、ブラウザーのインターフェイスが上下に表示されますので、もっとシンプルにします。アプリで表示されるメニューバーなども省き、「トップページに戻る」ボタンなども、ページの一番下にまとめておきます。ブラウザーのフッターで、前のページ（つまりトップページ）に戻ることができますので、あえてコンテンツに組み込む必要はありません。

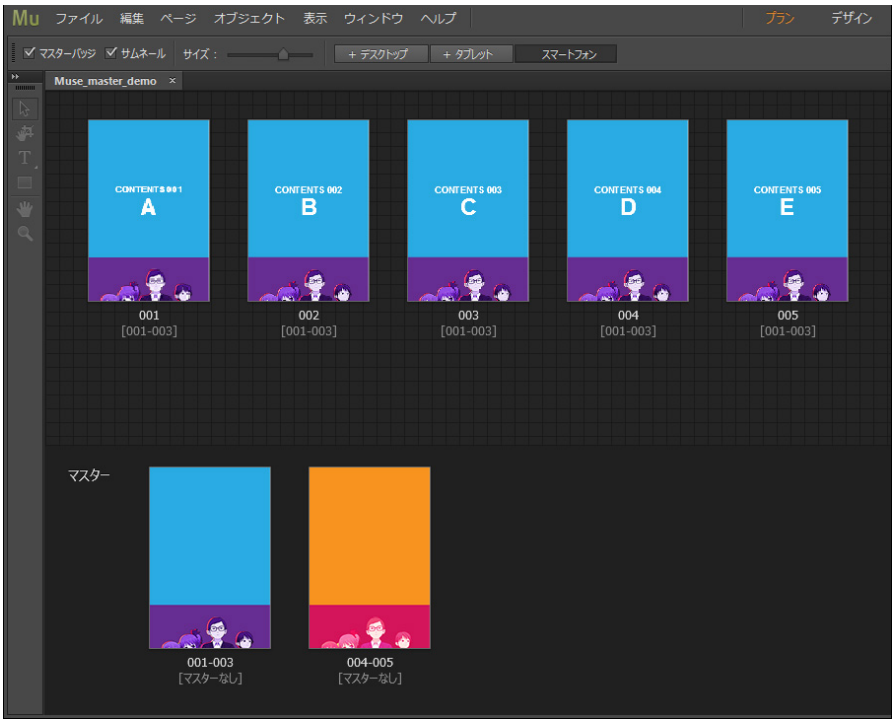
アプリのように、スクリーンを一回タップすると、上下にメニューバーやフッターが表示する仕組み（ブラウザーのインターフェイスを無効にすること）も可能ですが、ウェブアプリとして作り込む必要がありますので、JavaScript のスキルがないと作成できません。

今回のウェブキャストでは、コンテンツページのフッターに「戻る」ボタンやインフォーメーションなどの情報をまとめるシンプルな構成にします。

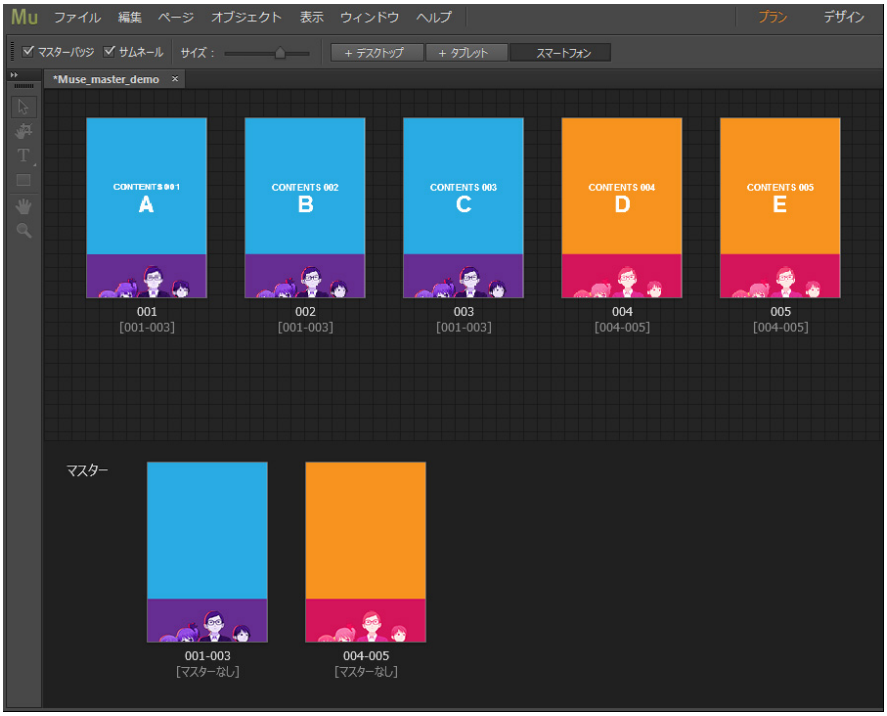
STEP-03　ヘッダーとフッターのデザイン

Muse には、マスターページの機能がありますので、すべてのコンテンツページで共有するフッターは、マスターページで一つ作成すれば、全ページに適用されます。また、マスターページを修正すれば、すべてのページで反映されます。メンテナンス性に優れていることも、Muse の利点です。

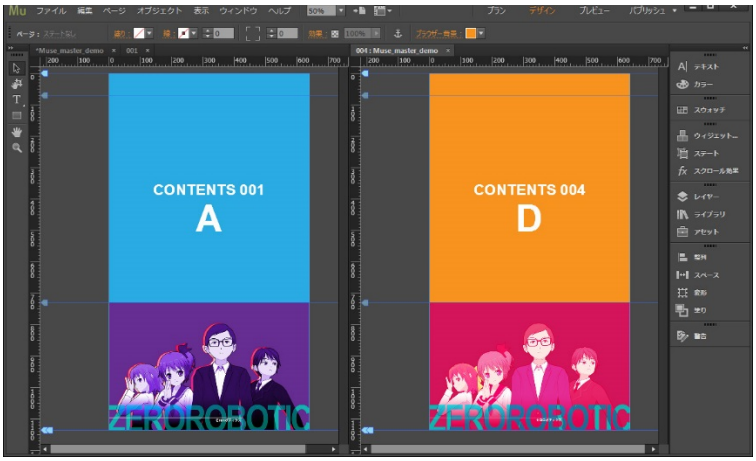
マスターページは、通常のページと同じように追加していくことができます。下図のサンプルでは、2 種類のマスターページを作成しています（フッターに配置されている画像と背景色が異なります）。



マスターページの適用は、対象とするページにドラッグして重ねるだけです。何度でも適用できます。また、マスターが適用されると、サムネイル表示も変わります。



シーズン 1 のデザイン、シーズン 2 のデザインといったバリエーションを管理するなど、エピソードによって、フッターのデザインを変更したいときは、マスター機能が適しています。



Muse には、メニューや SNS ボタン、動画埋め込み、マップなど、さまざまなウィジェットが用意されています。サンプルコミックでは、トップページの最上部にスライドショー・ウィジェットを配置し、複数のビジュアルを連続的に表示して、作品の世界観、魅力を伝えます。

STEP-04　スマホコミックページのデザインガイドライン

基礎編の達成目標は、スクリーンキャスト（ビデオ）で解説している「漫画のコマを配置する」までとなります。トップページの作成、およびコンテンツページとのリンクなどは、次回のウェブキャストで学びます。

トップページは、カバーグラフィック（4 つの画像をスライドさせています）、コンテンツメニュー、作品の紹介、作者の紹介、フッターグラフィック、SNS ボタン（LINE、Facebook、Twitter）、フッターの順に配置します。

コンテンツメニューのエピソードをタップすると、コンテンツページを表示します。コンテンツページは、最上部にタイトルヘッダー、最下部にフッターを配置しますが、「コンテンツ」以外は極力、付加しないデザインになっています。

フッターには、［もう一度読む］と［TOP に戻る］の 2 つのボタンがあり、［もう一度読む］をタップすると、コンテンツページの一番上に高速スクロールします。［TOP に戻る］は、トップページに戻ります。

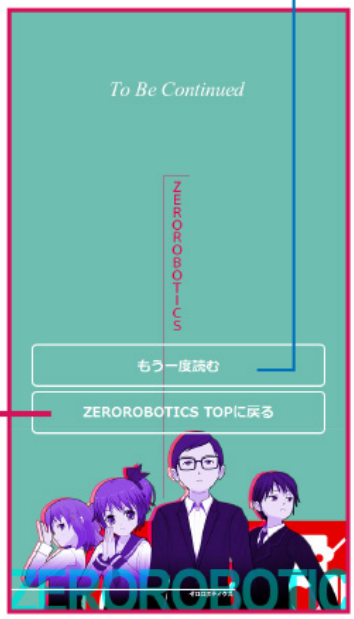
トップページとコンテンツページの構造は下図のとおりです。
「Lesson03」フォルダの「sp_comic_fin.muse」がここまでの完成ファイルです。開いて、内容を確認してみてください。

トップページ

エピソードへ

コンテンツの
一番上にスクロール

トップに戻る



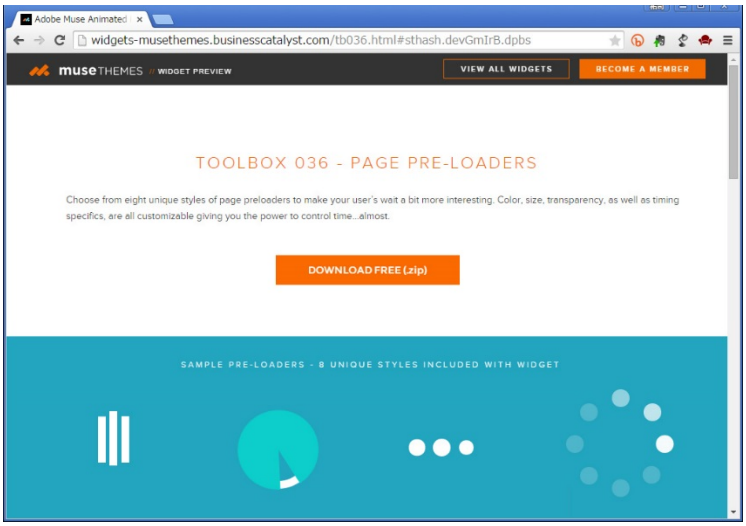
コンテンツページ

STEP-05　プリローダーの組み込み

スマホコミックの最後の仕上げは、プリローダーの組み込みです。
Muse には、さまざまなプリローダーが公開されています。今回は、誰でも無料で利用できて、カスタマイズ可能な「Muse-Themes.com」のライブラリを使用します。

以下のページにアクセスして、プリローダーのライブラリをダウンロードしてください。

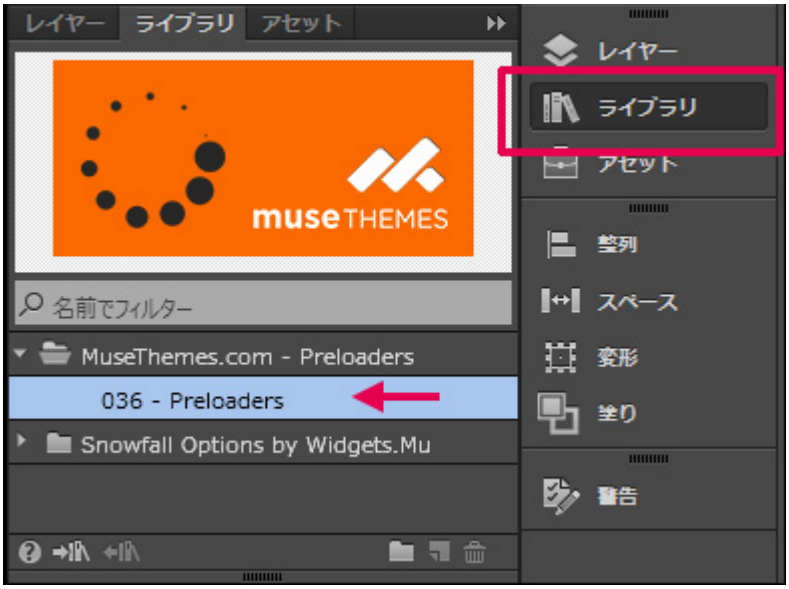
TOOLBOX 036 - PAGE PRE-LOADERS
Muse-Themes.com
http://widgets-musethemes.businesscatalyst.com/tb036.html#sthash.devGmIrB.dpbs
短縮 URL: http://bit.ly/1F1wxXC



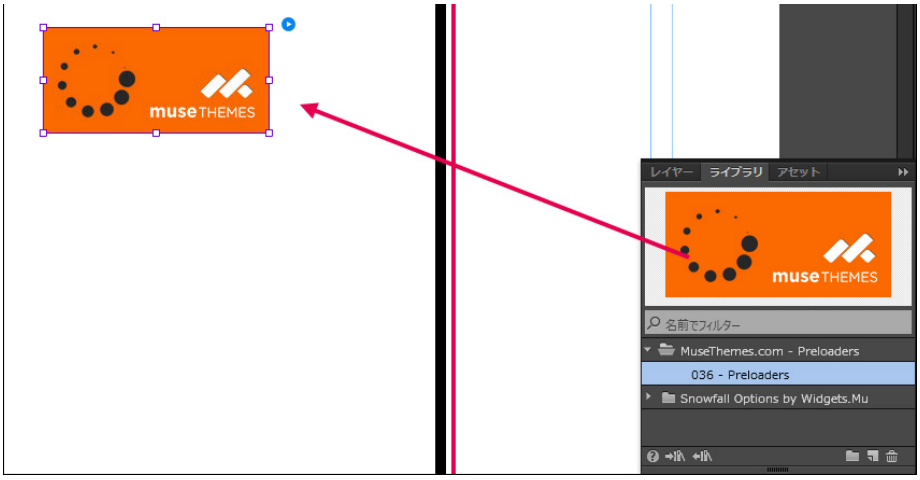
ダウンロードしたライブラリのアイコンをダブルクリックします（Muse が起動します）。

MuseThemes.com - Preloaders.mulib

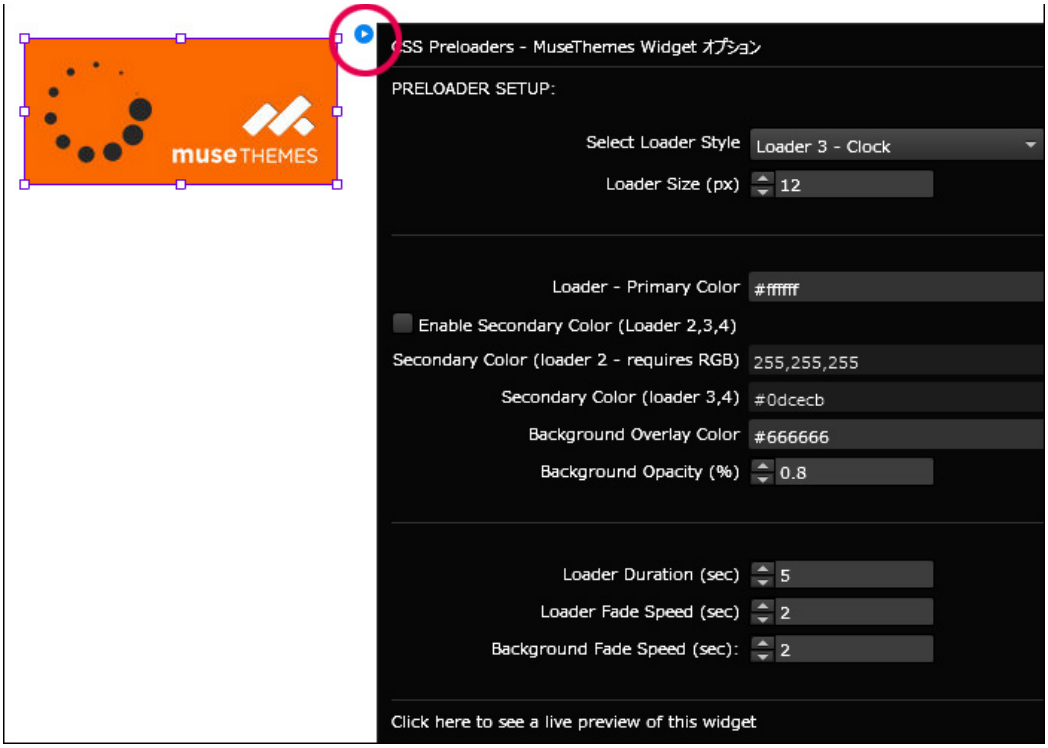
Muse のライブラリパネルを見てください。「MuseThemes.com - Preloaders」という項目が表示されています。ダブルクリックして展開すると「036 - Preloaders」が入っていますので、クリックしてください。プレビューの領域に、タグが表示されます。



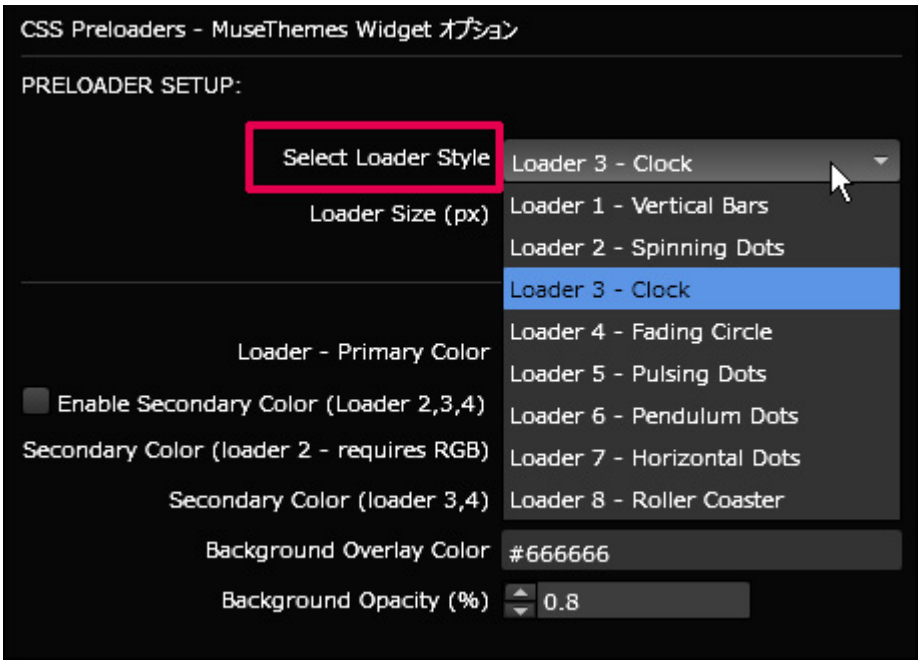
プレビューに表示されているタグをページにドラッグします。ページ上であればどこに配置してもかまいませんが（実際のページ上には表示されません）、ここでは最上部に置きます。



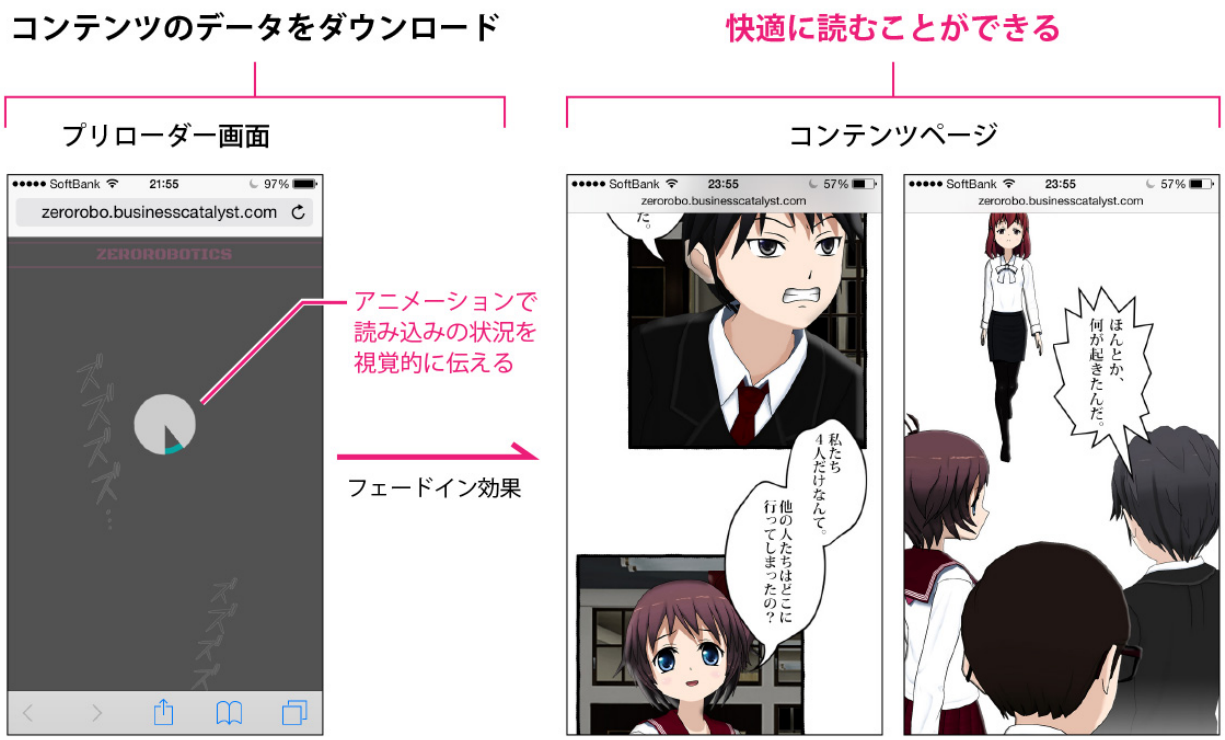
配置したライブラリが選択状態のとき、右上にオプションのアイコンが表示されますので、クリックします。オプションパネルが表示されます。



オプションパネルの［Select Loader Style］ポップアップメニューには、8 種類のスタイルが用意されています。ここでは、時計が回転するようなシンプルなアニメーションの「Loader 3 - Clock」を選びます。



プリローダーを配置した状態で、プレビューすると、ページの画像が読み込まれるまで、簡単なアニメーションで「ダウンロードの状況」を視覚的に伝えます。画像を読み込み終えたら、ページがフェードイン効果で表示されます。



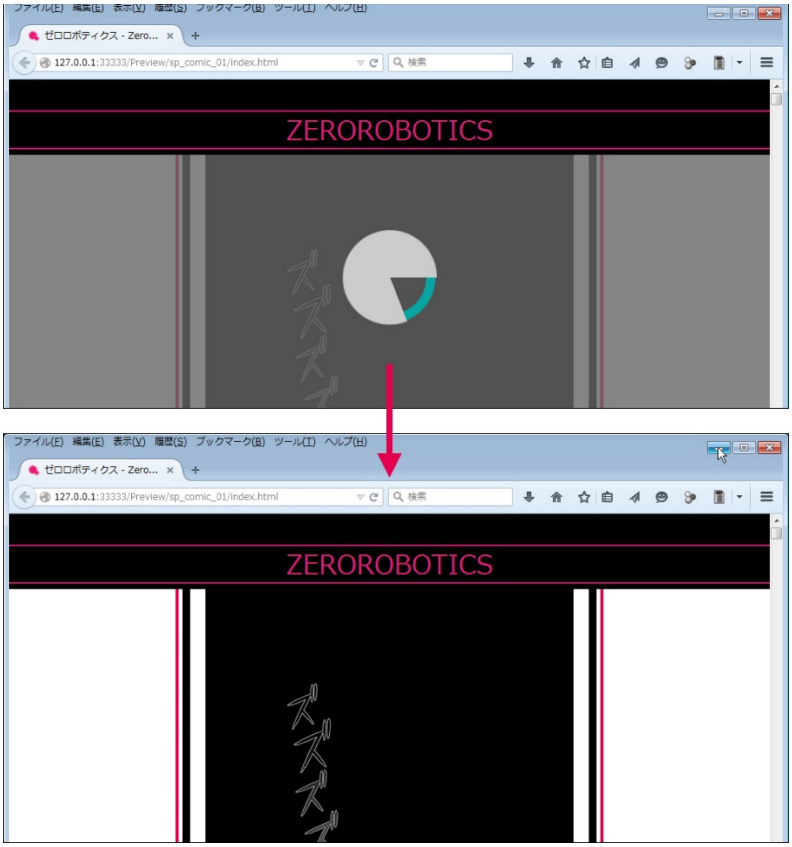
STEP-06　プリローダーの動作確認

プリローダーが動作しているかどうか確認するには、シミュレーターを利用します。まず、Muse でページを表示します。ファイルメニューの［ブラウザーでサイトをプレビュー］を選びます。
※「ページをプレビュー」の方を選択してしまうとスマートフォンページの確認ができませんので注意してください。

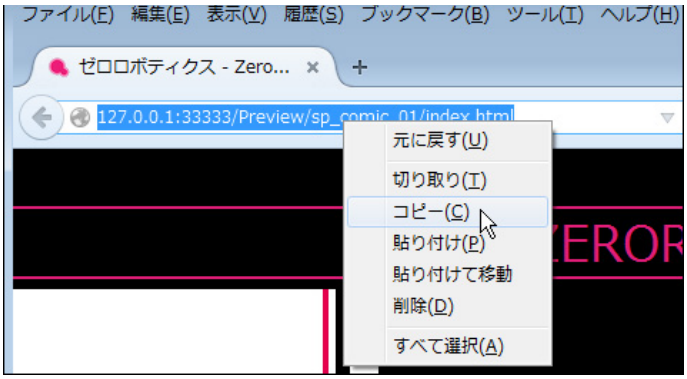
ブラウザーが起動して、ページが表示されます。プリローダーが正しく機能していれば、データ読み込みを伝えるアニメーションが再生され、読み込みが完了すると、フェードイン効果でコンテンツページが表示されます。

※ブラウザーは閉じずにそのまま表示しておいてください。

※Muse も終了しないでください。

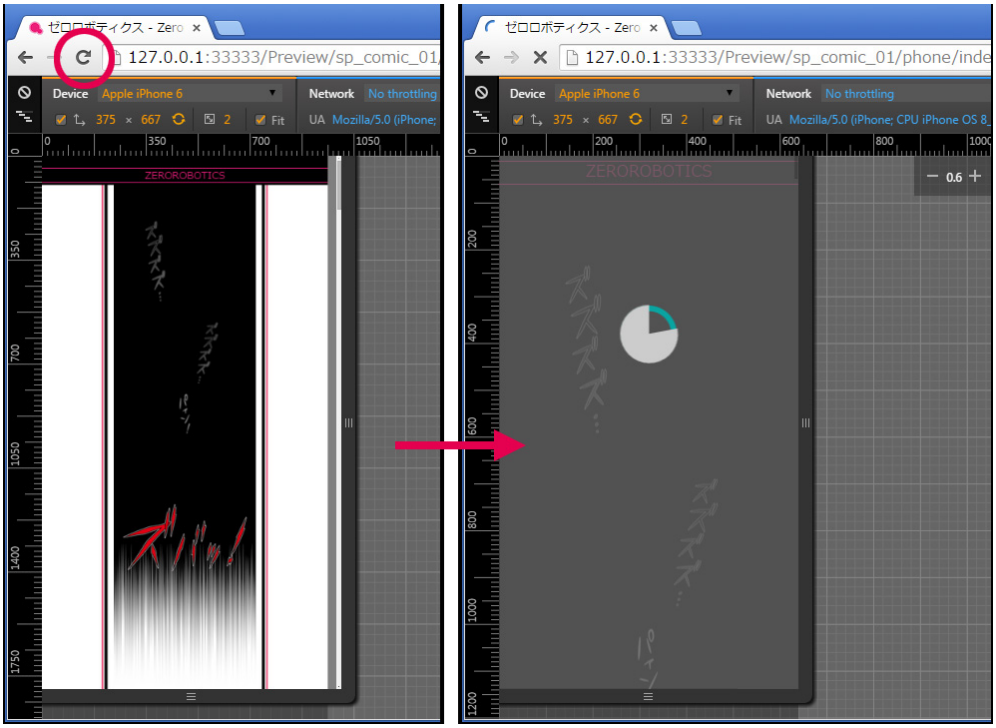


デスクトップはこれでよいのですが、スマートフォンについては、Muse では確認できませんので、Google Chrome のシミュレーターを使います。もし、Chrome 以外のブラウザーでページを表示している場合は、URL をコピーしてください。 Chrome で表示している場合はそのままでかまいません。



Chrome の右上の設定のアイコンをクリックして［その他のツール］→［デベロッパーツール］を選びます。

開発者向けの画面に切り替わります。ブラウザーのリロード（再読み込み）ボタンをクリックすると、スマートフォン向けのページが表示されます。
デスクトップと同様に、データ読み込みを伝えるアニメーションが再生され、読み込みが完了すると、フェードイン効果でコンテンツページが表示されます。



ここまでの完成ファイルは、「Lesson03」フォルダの「sp_comic_fin_preloader.muse」です。プレビューした後、Chrome で動作を確認してみてください。

スマホコミックを作ろう！ Lesson-03　スマホコミックの設計とデザイン

発行日：2015 年 5 月 23 日